平成 21 年 3 月期 第 1 四半期決算短信

平成 20 年 7 月 28 日

上場会社名 **ダイソーケミックス株式会社** 上場取引所 大証第 2 部
 コード番号 4366 URL <http://www.daitochemix.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 村瀬 千弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員管理部長 (氏名) 二宮 榮規 TEL(06)6911-9310
 四半期報告書提出予定日 平成 20 年 8 月 13 日

(百万円未満切捨て)

1. 平成 21 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 3 月期第 1 四半期	4,010		326		337		258	
20 年 3 月期第 1 四半期	3,523	1.6	231	14.1	230	20.5	16	89.2

	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益		潜在株式調整後 1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益	
	円	銭	円	銭
21 年 3 月期第 1 四半期	23	59		
20 年 3 月期第 1 四半期	1	54		

(2) 連結財政状態

	総 資 産		純 資 産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
21 年 3 月期第 1 四半期	20,616		13,178		63.9	1,201	76	
20 年 3 月期	19,771		12,964		65.4	1,178	91	

(参考) 自己資本 21 年 3 月期第 1 四半期 13,178 百万円 20 年 3 月期 12,928 百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1 株当たり配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
20 年 3 月期	-	3 00	-	3 00	6 00	
21 年 3 月期	-				10 00	
21 年 3 月期(予想)		5 00	-	5 00		

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無: 無

3. 平成 21 年 3 月期の連結業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第 2 四半期連結累計期間	7,500		200		200		250		22	80
通 期	15,000	4.4	400	19.1	400	48.1	400	212.5	36	47

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無: 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
（注）詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
会計基準等の改正に伴う変更 : 有
以外の変更 : 無
（注）詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数（普通株式）
期末発行済株式数（自己株式を含む）	21年3月期第1四半期	11,900,000株	20年3月期	11,900,000株
期末自己株式数	21年3月期第1四半期	934,263株	20年3月期	933,383株
期中平均株式数（四半期連結累計期間）	21年3月期第1四半期	10,965,963株	20年3月期第1四半期	10,970,422株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 第2四半期連結累計期間および通期の業績につきましては、現時点では、平成20年5月9日に発表いたしました連結業績予想と変更はございません。
2. 上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況や不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大きく異なる可能性があります。
3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題による米国経済の減速や原油・穀物等原材料価格の高騰に伴う物価上昇、株安等により景気回復の実感はさらに一段と弱くなり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、営業活動、新製品開発の促進、低コスト構造の構築等に全力をあげて取り組みました結果、原材料価格の上昇の影響はありましたが、化成品事業、環境関連事業の売上高が増加したことにより、前年同四半期比増収増益となりました。

この結果、当第1四半期における業績は、売上高40億10百万円、営業利益3億26百万円、経常利益3億37百万円、四半期純利益2億58百万円となりました。

また、事業別セグメントの売上高は、化成品事業が、34億88百万円となりました。「感光性材料及び印刷材料」は、g線・i線用材料と液晶用感光性材料が増加し、16億90百万円となりました。「写真材料及び記録材料」は、全体的に増加し、13億60百万円となりました。「医薬中間体」は、既存品の増加により、2億21百万円となりました。「その他化成品」は、2億14百万円となりました。

環境関連事業の売上高は、順調に推移し、5億37百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は前期末比8億45百万円増の206億16百万円となりました。流動資産は前期末比8億98百万円増の112億1百万円となりました。主な要因は、静岡工場の設備のリースバックによる現金及び預金の増加であります。固定資産は前期末比53百万円減の94億15百万円となりました。主な要因は、減価償却費が有形固定資産の取得を上回ったことであります。負債合計は前期末比6億32百万円増の74億38百万円となりました。主な要因は、リースバックに伴うリース債務の発生であります。純資産は前期末比2億13百万円増の131億78百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加であります。これにより自己資本比率は63.9%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、米国経済の減速を発端とする景気の減速や原油価格や原材料価格の高騰、株式・為替市場の変動等、先行きも不透明感が強まり予断を許さない状況は続くものと予想されます。当社グループについては、営業活動に全力をあげるとともにさらなる経営の合理化を図ってまいります。このような状況を踏まえ、平成21年3月期第2四半期業績、通期業績の予想数値に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

該当事項はありません。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,696	1,660
受取手形及び売掛金	3,295	3,056
有価証券	1,198	1,299
商品	2	4
製品	1,206	1,217
原材料	898	871
仕掛品	1,155	1,225
貯蔵品	22	22
その他	726	945
流動資産合計	11,201	10,302
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,303	3,303
その他	4,477	4,584
有形固定資産合計	7,780	7,887
無形固定資産		
投資その他の資産	6	7
固定資産合計	1,628	1,573
資産合計	9,415	9,468
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	869	894
短期借入金	560	560
1年内償還予定の社債	56	56
未払法人税等	29	51
引当金	536	368
その他	1,636	1,101
流動負債合計	3,688	3,031
固定負債		
社債	1,838	1,838
長期借入金	1,620	1,660
引当金	181	181
その他	110	94
固定負債合計	3,750	3,774
負債合計	7,438	6,806

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,901	2,901
資本剰余金	4,421	4,421
利益剰余金	6,342	6,116
自己株式	665	665
株主資本合計	12,999	12,773
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	115	91
繰延ヘッジ損益	12	60
為替換算調整勘定	75	123
評価・換算差額等合計	178	154
少数株主持分	-	35
純資産合計	13,178	12,964
負債純資産合計	20,616	19,771

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	4,010
売上原価	3,279
売上総利益	730
販売費及び一般管理費	403
営業利益	326
営業外収益	
受取利息	3
受取配当金	11
為替差益	21
雑収入	11
営業外収益合計	48
営業外費用	
支払利息	18
持分法による投資損失	6
雑損失	12
営業外費用合計	37
経常利益	337
特別損失	
固定資産除却損	0
投資有価証券評価損	15
特別損失合計	16
税金等調整前四半期純利益	321
法人税、住民税及び事業税	62
法人税等調整額	1
法人税等合計	64
少数株主利益	1
四半期純利益	258

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	化成品事業 (百万円)	環境関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	3,488	537	103	4,128	(118)	4,010
営業利益	218	98	1	318	8	326

(注) 1 事業区分は内部管理上採用している区分によっております。

2 事業区分の主な内容

- (1) 化成品事業……感光性材料及び印刷材料・写真材料及び記録材料・医薬中間体・その他化成品
- (2) 環境関連事業……産業廃棄物の処理および再生事業等
- (3) その他の事業……物流管理、生産補助、環境・設備保全等の業務請負等

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

全セグメントの売上高の合計額及び全セグメント資産の金額の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	3,523
II 売上原価	2,924
売上総利益	599
III 販売費及び一般管理費	367
営業利益	231
IV 営業外収益	29
V 営業外費用	30
経常利益	230
VI 特別利益	—
VII 特別損失	189
税金等調整前四半期純利益	41
法人税等	22
少数株主損益	1
四半期純利益	16

(2) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

	化成品事業 (百万円)	環境関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	3,105	432	99	3,638	(114)	3,523
営業利益	166	57	3	227	4	231

(注) 1 事業区分は内部管理上採用している区分によっております。

2 事業区分の主な内容

- (1) 化成品事業……感光性材料及び印刷材料・写真材料及び記録材料・医薬中間体・その他化成品
- (2) 環境関連事業……産業廃棄物の処理および再生事業等
- (3) その他の事業……物流管理、生産補助、環境・設備保全等の業務請負等

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

全セグメントの売上高の合計額及び全セグメント資産の金額の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。